

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画 (中間)・最終)

昭和中学校区 校番22 学校名 呉市立昭和西小学校

a 学校教育目標	(貫) 未来を拓く人間の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 本校の存在意義は「確かな学力と社会性を身に付け、郷土を愛し、未来を拓く児童の育成」である。 <ビジョン>(将来の学校像) この学校で学んでよかった、学ばせてよかった、勤めてよかったと思える学校を目指す。
----------	----------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	(現状)・基礎的・基本的な学力が定着していない児童が見られる。特別な支援を必要とする児童が多い。 ・縦割り班活動等で高学年がよい見本を見せるという校風が育ってきたが、規範意識が低く生徒指導上の課題も多い。 ・運動能力の個人差が大きく、走力や投力に課題がある。安全に対する意識が低い。 (重点)・学力の向上(小中一貫で取り組む授業改善・主体的に学習に取り組む態度の育成・個別指導の充実) ・社会性の慣用(自らへの自信・道徳の実践力・規範意識を育む教育活動の充実) ・体力向上と防災教育・安全教育の充実
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	(貫) 知識・技能 コミュニケーション力 自らへの自信
-------------	-----------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価								
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期					
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価			
*** 確かな学力	(貫) 基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的な学びを通して、積極的にコミュニケーションを図る児童を育成する。	○基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ○自ら積極的にコミュニケーションを図る児童を育成する。	・レディネステスト等で課題を把握し、効果的な指導を行う。 ・ICTを有効的に活用し、個別最適化された学習環境を整える。 ・単元で付けたい力を明確にした授業や課題探究的な学習を取り入れた授業の実践交流を定期的に行う。 ・話し合いの場や振り返りの在り方を工夫する。	・国語科・算数科の単元末テストにおける60%未満の児童 ・質問紙調査(児童・教職員)	8%以下 85%以上	国語 7.7% 算数 12.1%	国語 104% 算数 66%	国語 A 算数 C						
** 豊かな心	(貫) 社会性を涵養するとともに自己有用感を養う。	○道徳的実践力の育成を通して自己有用感を養う。 ○規範意識を育成する。	・たてわり班活動や異学年交流を計画的に実施し、効果的に評価する。 ・道徳科や行事等で自己有用感を高める。 ・肯定的な声かけを行う。 ・生活目標を達成するために学級や委員会活動での取組を行う。(重点項目:あいさつ、返事の徹底、くつそろえ、教室移動の無言歩行) ・黙々掃除を徹底させる。	・質問紙調査(児童) ・教師の見取り ・生活目標の振り返り ・教師の見取り	90%以上 90%以上	84%	93%	B						
* 健やかな体	健康な体をつくり自分の命は自分で守る力を身に付ける。	○体力・運動能力を向上させる。 ○災害や交通事故から自分の命を守る意識を高める。	・体力に関する課題を共有し全校的な取組を実施する。 ・くれチャレンジマッチスタジアムに取り組む。 ・防災教育の手引きを活用した授業、避難訓練、交通安全指導等を計画的に実施する。	・前年度6月の各学年平均記録を下回った児童の割合 ・児童への質問紙調査 ・教師の見取り	45%以下 85%以上	44%	102%	A						
業務改善	持続可能な教育環境の整備	長時間勤務の削減	週1回の定時退校の徹底	時間外勤務が月45時間を超えない教職員の割合	80%以上	54%	67%	C						

[k:評価]
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60